千代鈴、26連勝でストップ

春日根部屋の千代鈴がすでに九日目に優勝を決めていて2場所連続全勝優勝を飾れるかに注目が集まったが、千秋楽に落とし穴が待っていて鹿富士に敗れ全勝はならなかった。しかし10勝1敗という好成績で優勝し、来場所はいよいよ幕内で相撲を取ることになる。

千代鈴の十日目は初めて幕内の土俵で伊達の富士との割りが組まれた。「なんで千代鈴と伊達が当たるんだよお！」と朝日松理事長に不満を訴える伊達の富士の師匠の大響親方伊達の富士はすでに勝ち越しを決めていて入替え戦の意味がない。十両同士で好成績の春雷や粲ノ城と当てるべきというのが大響親方の主張だ。確かに大響親方の主張は的を得ているようだが、割りを決めるのは理事長の権限であり、平年寄の分際でと一蹴された。

今場所の伊達の富士ならもしかしたら…という期待もあってか、幕内と十両の対戦では過去最高の6本もの懸賞がかかった。「いや～！千代鈴人気はすごいねェ！6本の懸賞がかかったよ！」と鹿賀乃戸親方。前回の本場所を休場したため、久し振りの本場所でいつも以上に口も滑らか。しかし、注目の一番は伊達の富士が得意ののど輪に行こうとしたところを千代鈴がすかざず左を差すや素早い出足で正面に寄り切った。

千代鈴○（寄り切り）●伊達富

続く千秋楽は幕内優勝経験、三役経験のある実力者の鹿富士。鹿富士は身体の不調があってか今場所は十両に陥落。しかも序盤戦が1勝3敗と振るわず鹿賀乃戸親方をやきもきさせた。しかし、そこから奮起してここまで6勝4敗と勝ち越しを決め、この一番に勝って7勝とすれば幕内復帰も見えて来ている。

鹿富士○（引き落し）●千代鈴

相手が鹿富士といえども誰もが千代鈴の勝利かと見守る中、千代鈴が左を差して向正面に寄り進んだが、鹿富士が懐の深さをみせて粘り千代鈴を引き落とした。

「ちょっと身体が離れちゃったね！」と残念がる春日根親方。一方の鹿賀乃戸親方はまさかの勝ちに「千代鈴にとって関取になっての初黒星。初土俵以来2敗目。将来の横綱、大関と言われているだけに、この1勝は歴史に名を残すかも！」と興奮気味だった。しかし、相撲には勝っていた千代鈴。来場所は幕内でどのような嵐を巻き起こすか、幕内上位は今から戦々恐々としている。

来場所の入幕は千代鈴の他、東西筆頭の元大関の両雄、8勝3敗の照の王と7勝4敗の鬼ヶ嶽の3人が有望。千代鈴に勝った鹿富士は番付悪く十両に留まりそうだ。また、四国の星の龍不動が8勝3敗と好成績を上げたが、こちらも幕内からの陥落者の数から残念ながら一気に新入幕とは行きそうもなさそうだ。来場所に待望の新入幕をかける場所となる。

十両尻東西の新十両、再十両の春雷、粲ノ城はともに8勝を上げて来場所以降の活躍が期待される。一方、十両からの陥落は剣灘（廃業）、西勢ノ里、吉備の里の3人となりそうだ。（錦風）

剣将、改名で大化け

優勝はともに4戦全勝の勝間田部屋の雪若丸と麻縄部屋の剣将が対戦し、剣将が寄り切りで勝って5戦全勝で優勝を決めた。剣将は先場所の三段目優勝に続いての優勝となった。バランスの取れた体型とオーソドックスな取り口で将来が楽しみだ。

雪若丸●（寄り切り）○剣　将

一方、勝てば十両復帰が確実な雪若丸だったが、負けたものの幕内、十両での廃業力士が出たことで何とか十両復帰を果たせそうだ。これには師匠の勝間田親方は大いに喜ぶことだろう。何と言っても自身の引退枠で入った弟子だけに、このまま終わらせる訳にはいかないからだ。

雪若丸の他、十両昇進有力なのが菊の里、磯日ノ丸、西安の3人。春日根部屋は新十両の西勢ノ里が一場所で幕下陥落となりそうだが、入れ替わりに西安が新十両昇進となり春日根親方も一安心といったところ。

友砂親方が最大の期待を寄せる暫が4勝、香具山親方期待の花形が4勝と、それぞれの親方期待の弟子が好成績を上げて来場所以降の活躍が楽しみなところだ。（錦風）

三段目～序の口

三段目は、ともに初優勝をかけて黒田と桜庭の全勝対決。ここまで幾度となく対戦をしてきた両部屋であるが、優勝をかけて顔を合わせるのは初めてのことだ。すでに、幕下を確実にしている黒田にとっては全勝での優勝で締めたいところ。かたや、桜庭は勝てば幕下昇進の可能性も出てくるだけに、両者とも勝ちたい一番である。勝負は黒田の寄り切りで決着となり初優勝となった。

黒　田○（寄り切り）●桜　庭

香具山部屋の育成会での優勝は意外にも138回の吉永以来4年ぶり2人目。先場所の花形に続いて2場所連続の昇進となる。来場所の幕下への昇進者は今のところ黒田の他に西の富士、西神門、西渡海が有力。先場所東西の筆頭でチャンスを逃し悔しい思いをした西神門と西渡海は一場所遅れでの昇進となる。これで春日根部屋からは、西の富士を含め3人全員が卒業となるのか、番付発表が待たれるところだ。

序二段では全勝同士の戸田と島内が対戦し戸田が寄り切りで下して優勝を飾った。大松戸部屋では2場所前にも松山が序二段で優勝しており好調なスカウト活動が続いているようだ。来場所も相手をがっちり捕まえて攻め切る相撲を取れれば星は残せそうで更なる活躍が期待されるだろう。

島　内●（寄り切り）○戸　田

対照的に同部屋の大灘は5戦全敗と力を出し切れずに序二段から陥落となった。その他意外なところでは、先場所序の口優勝の西強が三日目から3連敗でよもやの負け越し。序二段でも当然優勝争いをするものと思っていただけに、春日根親方もまさかの結果に頭を捻っていた。

序の口では、唯一無敗の郡山が東灘をすんなり寄り切って全勝優勝を果たした。148回場所で勝錦が序の口で優勝してからまたも郡山が制したことで、このところの顕著なスカウトの成果に理事長も手ごたえを感じている様子。今場所は初日から全く危なげない相撲で連日他を圧倒、今のままでも三段目の上位で通用しそうな相撲っぷりだ。

郡　山○（寄り切り）●東　灘

来場所もこのまま突っ走りそうな感じ。友砂親方一押しの暫にも匹敵しそうな、はたまた、稽古次第ではその上を行く逸材になるかも知れない。友砂部屋の救世主になりそうで楽しみである。先先場所に初土俵を踏んで負け越し、一度は廃業となった桃薩摩が再出場で4勝をあげ復活を遂げた。播磨屋部屋では、白兎坂がすでに負け越しが決まり、もう一人の煌天鷹に勝ち越しの期待がかかったが、惜しくも敗れてともに退会となってしまった。（勝間田）